別紙 （参考様式）

令和3年度 体育に関する指導改善計画

東広島市立高美が丘小学校

令和2年度の重点課題

○一昨年度からコロナウイスの影響で，体力テストを行っていないため，令和元年度の課題を令和2年度も引き継いでいると想定して，令和3年度の改善計画を立てた。

・新体力テストの総合評価のAB率54%，DE率17.5%である。（AB-DE率36.5%）

・男子は，「50m走」，「握力」が県平均値かつ全国平均値より低い学年が3学年ある。

・女子は，「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低い学年があり，柔軟性に課題がある。

・運動習慣に関するアンケートによると，運動やスポーツを毎日していると答えた児童は21%（97人）で令和元年度よりやや減少している。また，体育の授業以外に月に1～3回運動すると答えた児童は34%（158人）である。体育の授業以外に運動をしていないと答えた児童は18%（87人）だったことから，運動の機会の減少に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体育科の授業の準備運動において走力向上の取組としてコオーディネーショントレーニングを行った。

○体育委員会を中心とした活動，「昔遊び」や「縄跳びチャレンジ（ふわふわジャンプアップ）」を実施し，自分なりに目標を立て進んで外遊びを行う児童の育成や体力や走力の向上を目指した。

○校内持久走大会を行い，練習ごとのタイム記録をもとに自己目標を設定することで，持久力の向上を図った。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.23	19.60	41.10	43.93	46.21	9.01	161.62	22.41	56.55

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.66	18.66	41.91	40.16	31.32	9.32	141.93	14.16	55.02

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.23	19.60	41.10	43.93	46.21	9.01	161.62	22.41	56.55

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.66	18.66	41.91	40.16	31.32	9.32	141.93	14.16	55.02

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	61.3	25.8	6.5	6.5

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	40.91	45.45	6.82	6.82

学校独自の意識調査

目標を持って進んで運動に取り組んでいる

男女	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
第1学年	76%	16%	4%	4%
第2学年	70%	20%	7%	3%
第3学年	54%	30%	9%	7%
第4学年	60%	35%	3%	2%
第5学年	58%	33%	7%	2%
第6学年	63%	24%	6%	7%
学校平均	64%	26%	6%	4%

重点課題

情意面での課題

○ 男子
・運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合が13.0%である。

○ 女子
・運動やスポーツをすることがややきらい，きらいと答える児童の割合が13.6%である。

体力面での課題

○ 男子
・「20mシャトルラン」において，県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 女子
・「握力」，「20mシャトルラン」，「立ち幅跳び」において，県平均値かつ全国平均値より低い。

○ 全体
・令和元年度と令和3年度の比較から，学校全体で「ボール投げ」が，県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○身体感覚を向上させるために，コオーディネーショントレーニングを準備運動で継続的に行うことで体の動きに関心をもたせ，走力や運動能力全般を高める取組を行った。

○運動能力や持久力の向上を図るため，準備運動などで活用できる「投げる・走る」運動を紹介し，各学級で取り組むことができるようにした。

体育の授業以外で行う取組内容

○校内持久走大会を実施し，スタミナや筋持久力，全身持久力を高める取組を行った。

○体育委員会を中心に校内縄跳びチャレンジを実施し，走力に必要な筋肉や体幹などの能力を高める取組を行った。

令和4年度の重点目標値

○令和3年度新体力テストの意識調査より，「運動やスポーツをすることがややきらい，きらい」と答える児童の割合を，男女ともに10%未満にする。

○学校独自の意識調査より，「目標を持って進んで運動する児童」の肯定的評価の割合を95%以上にする。

○「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。

○「20mシャトルラン」を県平均値以上にする。